



笑顔

譚 瑞
TAN RUI

私は、昨年9月に実習生として日本に来ました。日本の文化に対して深い感心があったからです。

日本に来て最初の印象は、交通ルールをみんながしっかりと守っていて、車が多い割りに交通事故が少なく、スムーズに車が走っていると思いました。故郷を離れて新しい環境で生活する私は、日本の人がどんな人柄なのかとても心配で、毎日ドキドキしていました。交通ルールを守る日本人は、親切で優しい人達でしょうか。それとも、厳しい人達でしょうか。そんな不安な気持ちで日本の生活が始まりました。

ある日、会社に行く途中、一人の小学生がカバンを背負って学校に行くのを見ました。彼女の側を通った時、彼女は丁寧に立ち止まって、私に「おはようございます」と笑顔であいさつをしてくれました。急に声を掛けられてびっくりしたけど、私も嬉しくなって彼女に「おはようございます」と言いました。

その彼女の笑顔は、まだ何も知らない日本の町で不安な気持ちの私に、親しみと元気を与えてくれました。

日本での実習も、もうすぐ9ヶ月が経とうとしています。仕事もだんだん慣れてきましたが、初めのうちは、たくさん失敗もしました。ある時、私は大事な部品を落として、すぐ落ち込んでいた時に、私の指導者は私の肩をたたいて微笑んで「大丈夫だよ」と言ってくれました。その顔から私は優しさを感じました。私達

は言葉は通じませんでしたが、笑顔で話ができるだけで、不安な気持ちがスーッと和らぎました。

これからは、同じ失敗を繰り返さないように気をつけよう。そして、今よりももっと日本語を勉強して、いっぱい話ができるようになりたいと思いました。

日本人の優しさを感じたことは他にもありました。それは、仕事が終わって帰ろうとした時です。外は雨が降っていましたが、私は傘を持っていなかったで、どうしていいか分からず立っていました。周りの人達は次々と帰って行きます。その時、日本人の同僚が私に声を掛けてくれました。「どこに住んでいますか？」と。私は、慣れない日本語で「駅の近くです」と言ったら、同僚は、となりに居た友達に私と一緒に帰って欲しいと頼んでくれました。その友達も笑顔で「いいよ」と言ってくれました。歩いて帰っている途中も慣れない日本語でたくさん話をしました。傘が一つだったお陰で、二人の距離も近く、言葉では表せない親しみを覚えたことを今でも忘れません。

日本に来てすぐは、心配や不安でいっぱいだったけど、周りの人達の笑顔と優しさに触れて、今は楽しい生活が送れています。

国は違っても、笑顔は世界中に通用します。笑顔は周りの人達を明るくします。笑顔はみんなを元気にします。私は、それを信じて毎日笑顔で過ごしたいと思います。